

# 経済学部

School of Economics

2024年4月開設予定  
(設置構想中)

※予定であり、今後変更する  
場合があります

経済学部の情報や  
詳しいカリキュラムは  
こちらから



## 実社会で活躍できる人材を。

経済学部は、旧制高岡高等商業学校を母体とし、90年を越える歴史と伝統を有しています。私たちは、個人を尊重する共生の精神を基礎に、国際的・歴史的視野からの学術研究の推進と、広い視野を備えた主体性と創造性に富む人材の育成を目指しています。これまで2万人近い卒業者は社会の各分野で高い評価を得ており、男子・女子学生とも高い就職率を誇ってきました。

しかし、近年、社会からは、多様で複雑な課題を解決できる人材やデータを分析し意味を持たせ価値を生み出す人材、地域課題の解決のためにデータサイエンスやデジタルトランスフォーメーションを活用できる人材が求められています。

本学部は、社会からの要請を踏まえ、令和6年度から従来の3学科制を経済経営学科の1学科制へ改組します。従来どおり、経済学・経営学・法学の分野を横断的に学ぶことができることはもちろんのこと、1学科制のもと3プログラム(公共政策・企業経営・経済データサイエンス)を置き、より明確な人材育成を行います。

加えて、少人数制のゼミ教育(必修)の他に、環日本海諸国などの諸外国との交流、実際に企業で活躍しているの方々による寄附講義、外部講師による講義、インターンシップ(就業体験)の推進など、教育体制の整備を図っています。

なお、今回の改組に伴い、令和6年度から夜間主コースの募集を停止します。

### 学部長からのメッセージ

## 社会科学とデータサイエンスで実践的課題解決力を

富山大学経済学部は、これまで経済学科、経営学科、経営法学科という3つの学科からなる社会科学系の総合学部として有為な人材を輩出してきました。しかし、今日、少子高齢化と人口減少が急速に進み、また国際的な産業競争力の低下が顕著にみられるなど、社会が抱える問題は多様化・複雑化し、これまで以上に、経済学・経営学双方にまたがる深い理解と幅広い知識が不可欠になっています。一方で、急速にデジタル社会が進展し、企業や自治体からは、地域やビジネスが抱える課題をデジタル技術の活用を通して解決を図るデジタル推進人材に対するニーズが増大しています。

そうした人材に対する社会的ニーズに対応するため、令和6年4月、経済学部はこれまでの3学科を1つに統合し、経済経営学科へと生まれ変わります。新しく誕生する経済経営学科では、経済学・経営学・法学の3分野を学べる体制を維持したまま、1学科のもと3つのプログラム(公共政策・企業経営・経済データサイエンス)を設置します。プログラムは、入学後に自分の学びたいことや適性を踏まえて選択することができます。また、どのプログラムに所属してもデータサイエンスの素養を身につける教育プログラムを用意しています。

公共政策プログラムでは、経済活動や法制度に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、公共政策の立案・実装に貢献できる人材の育

成を目指しており、将来的には、金融機関やNPO法人の職員、自治体等のDX推進担当者などとして活躍することが期待されます。

企業経営プログラムでは、企業経営や経済活動に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、企業経営に関わる諸課題を解決できる人材の育成を目指しており、将来的に、製造業のITサービス立案者やマーケティング・コンサルタント、DX推進担当者などとして活躍することが期待されます。

経済データサイエンスプログラムでは、より高度なデータサイエンスの専門的能力を備え、企業経営や公共政策の意思決定に直結する応用力を身につけた人材の育成を目指しており、将来的には、システムエンジニアやデータサイエンティスト、AIエンジニアなどとして活躍することが期待されます。

新しい経済経営学科では、経済・経営分野の高い専門性と分野横断的な幅広い知識を持ちつつ、データサイエンスの知識・技術をもとにデータを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する人材を養成するための体系的なカリキュラムを用意しています。ぜひ本学部に入學され、社会で役立つ実践的な能力を身につけ、社会に貢献できる人材として大いに活躍してほしいと思います。



経済学部長 森口 毅彦

# 入学定員 経済経営学科：335人

経済学・経営学・法学の専門知識を幅広く身に付けた人材育成を目指し、2年次から履修プログラム制を導入しています。3つのプログラムから1つを選択します。

### 公共政策プログラム

経済学・法学 × データサイエンス

経済活動や法制度に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、公共政策の立案・実装に貢献できる人材を育成します

### 企業経営プログラム

経営学 × データサイエンス

企業経営や経済活動に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、企業経営に関わる諸課題を解決できる人材を育成します

### 経済データサイエンスプログラム

データサイエンス × 社会課題

データサイエンスの専門的能力を備え、企業経営や公共政策の意思決定に直結する応用力を身に付けた人材を育成します

## このような人を求めています

社会科学の分野に興味・関心を持ち、次のような能力を身に付けて積極的に地域・国際社会に貢献する意欲がある人材を求めます。

- ・問題解決能力や創造力
- ・幅広い知識や専門的知識の修得
- ・データサイエンスの知識・技術の活用力
- ・他者及び多様な文化を持つ者とのコミュニケーション能力

● 入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)より  
※各ポリシーの全文は、本学ウェブサイトに掲載予定です。

## このような人を育てます

幅広い知識、専門的学識、問題発見・解決力、社会貢献力、コミュニケーション能力を身に付けている。

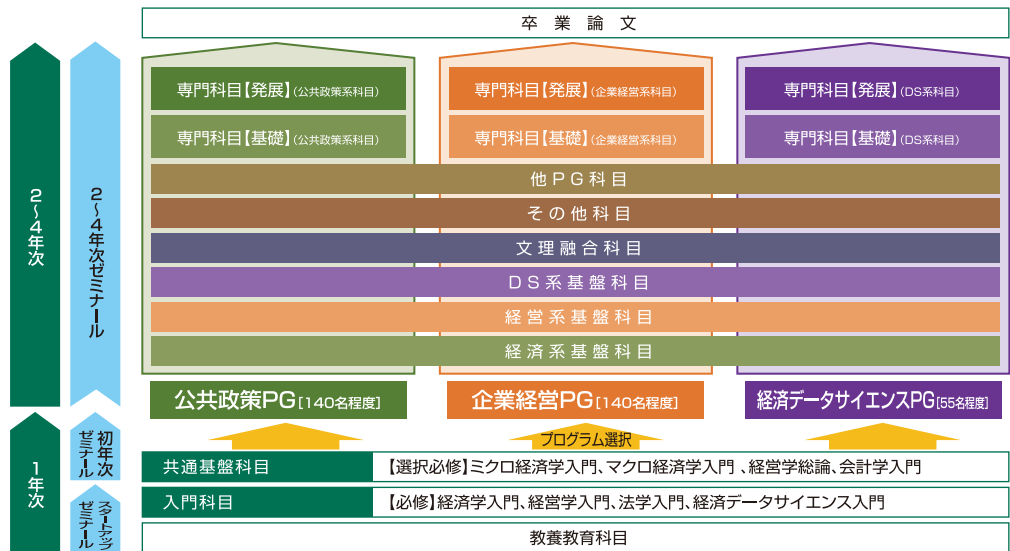
● 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)より

## このような教育を行います

- ・1年次においては、幅広い知識を備えた人材を育成するために、教養教育を実施する。社会科学の幅広い基礎の習得のため、経済学、経営学、法学、データサイエンスの「入門科目」を必修科目として、加えて経済、経営の「共通基盤科目」を選択必修科目として実施する。また、少人数型学習の導入教育として初年次ゼミナールを実施する。
- ・2年次から、学生の関心や希望する進路に応じて「公共政策」、「企業経営」、「経済データサイエンス」のいずれかのプログラムに所属させる。
- ・2年次には「経済系基盤科目」、「経営系基盤科目」、「データサイエンス系基盤科目」を実施し、いずれのプログラムにおいても社会科学ならびにデータサイエンスの基盤科目を共通的な知識として身に付ける。また、理系学部との連携による文理融合科目を実施し、幅広い知識と実践的応用力を持った課題解決能力を養成する。
- ・2年次以降は、選択したプログラムについてより深く学び、複雑な社会を自分自身で考える力を身に付けさせるため、専門科目(プログラム基礎科目・プログラム発展科目)を幅広く体系的に実施する。また、領域横断的に学んで知識と視野を広げるために、他プログラムの基礎科目・発展科目の履修を卒業要件の一つとする。加えて、コミュニケーション能力を身に付けさせるため、2年次ゼミナールを実施する。
- ・3年次では、より専門的な知識とともに、ディスカッション能力やプレゼンテーション能力など社会人として必要なコミュニケーション能力を獲得させ、社会に貢献できる力を養成するため、2年次に引き続き3年次ゼミナールを必修科目として実施する。
- ・4年次においては、より高い水準の問題発見力・解決力を身に付けさせるため、4年次ゼミナールを必修科目として実施するとともに卒業論文を完成させる。

● 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

## 4年間の学修の流れ



## 取得可能な免許・資格

〔資格〕 ● 社会調査士 ※所定科目の単位を取得することが条件です。

## 主な就職先 (2022年度卒業生)

- 北陸銀行 ● 富山銀行 ● 富山第一銀行 ● 三協立山 ● YKK AP ● 富士通ゼネラル ● 三谷産業 ● クスリのアオキ ● 北陸電気工事
- インテック ● 北日本新聞社 ● 富山県庁 ● 福井県庁 ● 富山市役所 ● 魚津市役所 ● 南砺市役所 ● 金沢市役所
- 金沢国税局など

※学部の卒業により税理士、社会保険労務士、公認会計士、不動産鑑定士等の受験資格取得、ビジネス・スクール、ロースクール進学等の多様な道への準備が可能です。

人文学部  
教育学部  
経済学部  
理学部  
工学部  
都市デザイン学部  
医学部  
薬学部  
芸術文化学部